

5年後には基金も枯渇!?  
厳しい市の財政状況

市民は負担増!



# 増額!? 4年連続で

市長・議員のボーナス

市電運賃値上げ  
(令和6年12月~)

市有施設値上げ  
(令和7年4月~)

下水道料金値上げ  
(令和8年10月~)



代表質問(令和7年12月3日)

## ボーナス増額に反対! むしろ市長・議員の 給料を減らすべき!

物価高で多くの市民が苦しい生活を強いられている中、市民の皆さんにばかり負担をお願いする一方で、政治家だけが市民感覚からかけ離れた高い報酬をもらい続けてましてや期末手当を4年連続で増額する姿勢は、到底市民の皆さんから理解を得られないものと考えます。

厳しい財政状況の中、まずは市長と市議会議員 自らが身を切る姿勢を示すべきです。

日本維新の会では、まずは自分たちだけでも、出来ることから実行するとの強い決意のもと、議員報酬の約2割を毎月積み立てて、被災地等に寄付を行う「身を切る改革」を実行中です。

この他、政務活動費(議員1人あたり月額40万円)の執行率を50%に抑えて、使わなかった分を札幌市にお返ししています。

	給料・報酬 (月額)	令和3年度 期末手当 (3.25月分)	令和7年度 期末手当 (3.50月分)
市長	128万円	618万円	671万円
議員	86万円	405万円	436万円

※期末手当は月額に局長職に準じた加算(約45%)をして計算されます。



詳細はコチラ

質問  
(波田)

厳しい財政状況の中、市長と市議会議員の期末手当を4年連続で増額するのではなくむしろ市長の給料と市議会議員の報酬を減らすべきと考えますが、お考えを伺います。

答弁  
(市長)

- 市長の給料及び市議会議員の報酬については、令和6年に開催した札幌市特別職報酬等審議会において、各界を代表する委員の方々に客観的にご審議いただき、適正な水準にあると認識。
- また、市長及び市議会議員の期末手当についても、国からの通知を踏まえ、国の幹部職員である指定職の職員に準じた支給割合とすることが適当であると認識。
- 厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革への姿勢を示すことも重要であるが、まずは給料に見合う職責を果たすことが必要であると考えており、市民の皆様からご理解を得られるよう、責任を持って市政運営に取り組んで参りたい。

札幌市議会議員【中央区】

# はだだいせん 市政だより

<2026年春号>  
波田 大専



参加  
無料

## 市政報告会

**参加申込**

①会場参加  
参加申込は不要です。

②オンライン参加  
E-mailでお申込ください。  
info@hada-daisen.com

日時

令和8年3月29日(日)  
14:00~16:00 (13:30開場)

場所

カナモトホール(札幌市民ホール)2階 第1会議室  
札幌市中央区北1条西1丁目 地下鉄「大通駅」31番出口すぐ

<主な話題>

- 札幌ドームは本当に黒字になったのか!?
- ドローンによるヒグマの侵入抑制策を!
- 市長と議員の給料・報酬カットを!
- 市OBの再就職(天下り)の見直しを!
- 公園での花火を解禁して欲しい!
- 認知症行方不明者への対策
- 終活とACP(人生会議)
- 札幌を副首都に!
- 農業と食 など
- 下水道料金の値上げ
- 子育て支援・教育の無償化



## 札幌を副首都に！～副首都構想に対する取組姿勢は！？～

令和7年12月3日  
代表質問

日本維新の会では、東京一極集中の是正や首都機能のバックアップ等を目的とした「副首都構想」を掲げ、副首都の候補地として**大阪・福岡・札幌**を挙げています。

「札幌市・北海道」は地理的に本州における災害時のバックアップ機能や、食料・エネルギー供給の面で一定の優位性があります。例えば**農林水産省**や**資源エネルギー庁**など中央省庁の一部を「札幌市・北海道」に移転することで、関連する産業の企業も移転・進出してくることが期待され新たな雇用の創出や経済の活性化にも繋がります。

我が国における「札幌市・北海道」の戦略的な位置づけが高まることで、未だに開業時期が見通せない**北海道新幹線**の札幌延伸の早期実現も期待される他、日本の副首都として札幌が世界に輝く、またとない大きなチャンスと考えます。



質問  
(波田)

「札幌市・北海道」として、副首都の指定に向けて積極的に取り組むべきと考えますが、「副首都構想」に対する**市長の取組姿勢**について伺います。北海道とどのように連携していくのか併せて伺います。

答弁  
(市長)

札幌市にとって真に意義のある制度であるか、北海道との連携を含めて、**国の議論の動向を見極め**ていく。

詳細は  
コチラ▶



## 市OBの出資団体への再就職(天下り)の見直しを！

令和7年12月3日  
代表質問

例えば、「札幌市民防災センター」の運營業務等を行う出資団体「公益財団法人 札幌市防災協会」では、**理事長が市の退職者**であることはもとより、令和7年11月1日時点で、全職員数41名のうち、**半数以上に当たる22名が札幌市の退職者**であり、年齢構成を見ても**半数以上に当たる24名が60代以上**とのことです。

質問  
(波田)

出資団体の職員構成について、**札幌市の退職者の割合が多すぎる**ことは、健全ではなく、改善が必要と考えますが、ご認識を伺います。

答弁  
(副市長)

市職員の派遣や再就職の職員数が適正であるかに加え、プロパーの人材育成の観点からも、人的関与の見直しを検討していく必要があるとの認識のもと、現在、札幌市行政評価委員会でご議論いただき、団体ごとの状況に応じた**検証をまさに進めている**ところ。

詳細は  
コチラ▶



## ドローン等を活用したヒグマの侵入抑制策を！

令和7年12月3日  
代表質問

捕獲や駆除による対策は、極めて重要ではありますが、そもそも市街地にヒグマが出没した時点で、既に生命や安全を脅かす重大な危機であり、対症的な対応のみならず、やはり**市街地に入ってくるようにするための侵入抑制策を徹底**することが喫緊の課題であると考えます。

例えば、名寄市では、拡声器や動物駆逐用の花火を搭載した**ハンティングドローン**を活用し、ヒグマが嫌がる猟犬の鳴き声や花火の爆発音による威嚇を行う等の侵入抑制策に昨年取り組み始めたところ、**市街地でのヒグマの目撃情報が無くなった**とのことであります。



質問  
(波田)

最先端技術を活用した**ヒグマの侵入抑制策**について、その効果を見極めるためにも、民間事業者等と連携したモデル事業等に積極的に取り組むべきと考えますが、お考えを伺います。

答弁  
(副市長)

ドローン等最先端技術を用いた対策については様々な手法があることから、民間事業者や有識者にも相談しながら、試験的な導入も含めて、その**効果を検証**してまいりたい。

詳細は  
コチラ▶



参加  
無料

## 「市政カフェ」

毎月  
開催中



毎月1回、テーマを決めて市民の皆さんと一緒にお茶を飲みながら、市政に関する「ご意見」や「ご要望」等を聞かせて頂いております。

ふらっと「カフェ」に立ち寄るような気持ちで、どなたでもお気軽にご参加ください。(オンラインでも同時開催)

これまでの「市政カフェ」開催の様子や今後の予定については**公式WEBサイト**でご覧ください▶



【9月】認知症と地域共生を考える



【11月】地域おこしを考える



【2月】学校給食を考える

## プロフィール 波田 大専(はだ だいせん) 札幌市議会「日本維新の会」

平成元年生まれ(36歳)、北海道札幌市出身。札幌旭丘高校(第48期)、北海道大学経済学部経営学科を卒業後ホクレン農業協同組合連合会を経て松下政経塾に入塾。2児の父(長女4歳、長男3歳)。行政書士、社会福祉士。母親の認知症をきっかけに認知症サポーター養成講座の講師。2023年 札幌市議会議員に初当選(最年少)。

【市議会での役職歴】 ●総務委員会 副委員長 ●大都市税財政制度・DX推進調査特別委員会 理事  
●厚生委員会 委員 ●建設委員会 委員

はだ だいせん事務所 〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目8番5号 プレジデント札幌ビル7階 705  
電話/FAX: 011-600-2471 E-mail: info@hada-daisen.com

市民の皆さまの「ご意見」「ご要望」「お困り事」等、ぜひお聞かせください。(電話・FAX・郵便・E-mail等)



各種SNSや公式WEBサイトで  
日々の活動を発信しています！

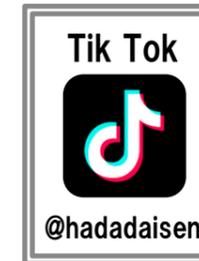
フォローする



@Daisen1989



@daisenhada



@hadadaisen



@HadaDaisen



@daisenhada



@hadadaisen